

	コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	1196	上野公民館まつり開催経費	会計	01	一般会計
			款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	06	分館費
基本 施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	細目	102	分館活動経費
			細々目	01	上野公民館まつり開催経費
行革大綱の重点事項番号					
担当部課	コード	451300	担当者 氏 名	22 - 9801	
	名 称	教育委員会 上野公民館		(内線) 3701	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	上野地区の住民で自分の作品・練習の成果等を発表したい市民と文化芸術に関心があり鑑賞したい市民			※対象件数
成果(どうする)	作品展示・発表を鑑賞した方々の学習意欲が高まり、作品の展示・発表したことにより、自信を深めより高度な技術を習得するために、いっそう研鑽しています。			
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21 事業 内 容	上野公民館まつり(上野公民館と上野地区20分館)の地域住民の作品展示・発表。 事業調整ができずに、中止しました。			
社会情勢 の変化等	生涯学習や技術研鑽の発表の場として定着している。2年に一度の開催をしている。分館においても公民館まつりを開催しているので、各分館との調整が難しい。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	目標	20	
			実績	実績	0	
参加公民開数		館	目標	目標		
			実績	実績		
			目標	目標		
			実績	実績		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標	300	
				実績	実績	0	
来館者数		発表者や出席数に波があるが、来館者数とした。	人	目標	目標		
				実績	実績		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
	直接事業費計 (A)		50					
	A の 財 源 内 訳	国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	0	50	0	0	0	0
	事業投入人件費 (B)		人	0	人	0	人	0
	フルコスト(A)+(B)		0	50	0	0	0	0

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		上野公民館及び上野地区20分館を会場として、学習研鑽したことを発表することは、生涯学習の意欲をより高め、地域文化の高揚が図られる。	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業			
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	○		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業			
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業			
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業			
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業			
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業			
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業			
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業				
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】				
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業				
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】				
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	作品の展示、学習(練習)成果の発表をすることにより、分館相互の交流をすることにより、自己研鑽の機会にもなり、より学習意欲が高まる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○		
達成度	サービス水準や対象を見直す余地がある。			
	当初設定した計画を	60%未満	実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】 22年度は、検討を重ねたが、各分館の分館まつりや地区行事との兼ね合いで調整がつかず、公民館まつりは行わず。
	予算の繰越の有無	無		
	【予算の繰越がある場合、繰越の額別】			
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。			
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。			
	【事業名】			
	受益者負担を求めることができる事業である。			
	全体コストにおける負担構成は適正である。		○	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。			
			切り詰めた経費の中で、実施を計画しており、これ以上の削減の余地はない。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	生涯学習センターを視野に入れた計画をすすめていく。
昨年度 の取組 状況	【状況】 計画のとおり進んでいない
	【詳細】 22年度は、検討を重ねたが、各分館の分館まつりや地区行事との兼ね合いで調整がつかず、公民館まつりは行わず。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	福德 大司
事業の方向性	【方向性】 廃止
	【理由】 上野公民館まつりは、隔年ごとに行っています。各分館において、地域の公民館まつりを行っているため、上野公民館まつり開催の日程調整がつかず過去2回(平成19年度と平成21年度)中止となっています。分館においても、上野公民館まつりへ出展することが経費面においても難しいことと日程の調整がつかないこと、また、同じような事業もあることから、廃止としたい。
現時点における課題、その他	過去2回もおこなわれず、開催に向けての分館との調整が困難である。(分館での公民館まつり開催のため)
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	隔年で事業を行っており、23年度に行う予定であるが、廃止としたい。